

教育長室からのお知らせ No. 85(令和4年8月)

教育長 田中 康寛



暑中お見舞い申し上げます。先日、市内のある小学校から、ひまわりが咲いたという嬉しい便りが届きました。このひまわりは、東日本大震災で被災した宮城県石巻市のがれきの間から芽を出して咲いた「ど根性ひまわり」の子孫です。暑さに負けず命を輝かせて咲いている様子は、とてもたくましく、エネルギーに溢れています。子どもたちにはこの夏休みを有意義に過ごし、ひまわりのような笑顔で2学期を迎えてほしいと願っています。

7月は夏休み中も市川・浦安支部中学校総合体育大会が開催され、子どもたちの活動の様子が聞こえてきました。大会は日々の活動の成果を発揮できる場ですが、行き過ぎた勝利至上主義や、それによる子どもの健康被害があってはなりません。今年6月、スポーツ庁の有識者会議による提言の中で、公立中学校等における休日の運動部活動の地域移行について、達成時期として令和7年度末を目途とすることが示されました。同様に、文化部活動については文化庁の有識者会議により、提言の取りまとめが進められています。現在の部活動は、教職員の献身的な勤務により支えられています。持続可能な部活動と教職員の働き方改革の両立を目指し、部活動の地域移行にあたっては、子どもたちが自主的にスポーツや文化活動に取り組む機会を保障できるよう、関係部署や地域の関係団体等と連携を図っていきたいと考えています。

新型コロナウイルス感染症について、全国的に感染者数が過去最多を記録している状況となっていますが、現在のところ行動制限はなく、期待と不安が入り混じっている方もいらっしゃると思います。日々の健康には自己で留意し、対策を講じる必要があります。夏休み中も、家庭でできること、部活動や外出時等に気を付けることとして、3密回避、マスク着用、手洗い、うがい、換気等を励行し、基本的な感染対策を引き続き行うことが肝要です。

反面、時季的に、熱中症予防とコロナ対策との両立が必要です。特に、高温・多湿な環境でのマスク着用は熱中症のリスクが高まります。屋外で十分な距離が確保できる場合はマスクを外すなど、適時適切な判断が必要です。子どもだけでは判断が難しい場合があるかと思いますので、ご家庭や地域の皆様のご協力をお願いいたします。学校では、子どもが健康に必要な情報を自ら収集し、適切に判断し、健康な生活を実践できる資質・能力を育めるよう、発達段階に寄り添った指導を引き続き行ってまいります。

夏休み期間中、子ども向けに、地域の青少年向けのリーダー育成講座等が行われます。2部制にする、時間を短縮するなどの工夫を凝らして実施されますので、子どもたちが自らの成長を感じる機会となるよう願っています。

2学期からも学校では、教職員の高い専門性と豊かな人間性で市川の子どもを育ててまいりますので、皆さまのご理解、ご協力をお願いいたします。